

アニメーション

animación

商標登録 第 5139682号

特定非営利活動法人日本アニメーション協会

商標登録 第 5139681号

会報 22号

2013年12月25日(水)発行

編集人/塚本 美樹 発行人/黒木 秀子

【法人所在地】〒274-0825 船橋市前原西 2-21-8 松沢ビル 2 階
【事務局】〒299-4503 千葉県いすみ市岬町和泉1895-2 弥生寮
TEL 0470-62-5905 FAX 0470-62-5906
ホームページ http://animacion.jp/ メール info@animacion.jp

すべての子どもに読書教育を

「絵」の順番並べ替えも大変に楽しくできますが、元々は、10代前半(中学生くらい)を対象とした作戦で、作品としては、例えば岩波少年文庫や福音館文

作戦12番はまるでアニメーションの代名詞のように、広く知られてきたと思います。良く考えられた手順で、遊んでみて実に楽しく、多くの皆様に実践していただいていた作戦だと思えます。

作戦12番はまるでアニメーションの代名詞のように、広く知られてきたと思います。良く考えられた手順で、遊んでみて実に楽しく、多くの皆様に実践していただいていた作戦だと思えます。

アニメーションUJINば、いれ？

作戦12番「前かな、後ろかな？」の実践例 黒木 秀子

会員の皆様、読者の皆様、本年2013年も私たちNPO法人日本アニメーション協会へのお力添えを本当にありがたうございました。法人の中心メンバーたちでこの1年を、また更には2008年の法人設立以来の6年間を振り返る中で、新しい年からは新しい形での皆様との交流を作って行きたいとの結論に達しています。具体的には、この会報「アニメーション」をリニューアルすることが決まりました。会報「アニメーション」は2008年4月の「0号」を皮切りに、今号で22号となります。年4回発行、新聞形式で、読みごたえのあるものを、と願って来ました。しかし、皆様のお目に読みやすいものを作る事が出来たかどうかは大いに反省の余地があり、NPO法人7年目を迎える来年度から、新しい形に変えるべく検討を進めています。従って、この形式での会報発行はこれが最後となります。新しいスタイルについては、どうぞお楽しみに！年4回の発行はこれまで通りです。皆様との交流の糧となる会報作り引き続き励みますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。今後の会報紙の果たすべき役割を考え合う中で、アニメーションの作戦別の実践例をお知らせすることが良いのでは、というアイデアが生まれました。そこで、今号ではリニューアルに先駆けて、もつともアニメーションらしい作戦「前かな、後ろかな？」を扱おうとしました。

指定された本を全員が読み終わった状態でアニメーションの日を迎えます。アニメーションは、これから楽しい遊びを行うこと、それは、うっかりして物語の一部を抜き書きしたカードの順番がめちゃめちゃになってしまったので、みんなで考えて、物語の流れの通りに並べ替えてほしいという遊びであることを説明します。半円形ないしU字形に椅子を並べ、参加者はそこに座ります。アニメーションが、物語の一部を抜き書きしたカードをよくシャッフルして、全員に配ります。

カードをもらったら、みんな沈黙の内に、自分のところに来た文面は、物語全体の中でどのくらいの位置にあったか、と考

車などの1冊くらいのものが全体が読書材(予読本)となります。そのご理解をいただけると有難いと思います。本来、この作戦のカードは、「絵」ではなく、作品からの箇所の抜き書きで、それが音読されることにより物語世界全体が想起されることを狙っているのだという点に、ぜひご留意いただきたいと思っています。

半円形(またはU字形)のどちらかの端を「物語の初め」もう一つの端を「終わり」の位置と決めて、「初め」の方に座っている1番先端の人に、まず、カードを音読してもらいます。次に、「初めから2番目」の人に、自分のカードを音読してもらいます。2番目の人は、自分で良く考えて、自分(のカード)は、初め(1番目)の人(のカード)よりも物語の中で「前かな、後ろかな？」を決めます。「前」と決めたら、2番目の人は「後ろ」と決めたら、席を変わらせずにそのまま座っていることにします。そして次に3番目の人が自分のカードを読みあげ、自分で、その前の1番目と2番目の人との関係での自分の位置を決めます。次に4番目の人がこのようにして、全員、まわりまわりを見ない約束は勿論ですが、カードを貰った人が自分の位置を決めるときには、聞いている他の人たちは、もしも「あれ？」と思っても、口を出さない約束にします(あとで、充分に意見を出す時間を取りますから！)。

手順

実践例

失敗例

この作戦では、都合3回、みんなが物語の一部(カード抜き書き部分)の音読を聞くこととなります。耳から聞くことで物語全体が思い出されることが想定されています。そこで、カードを作る際には、次の4点に留意します。①時系列がわかる箇所を抜き書きする。②作品の「美味しい」「良い」部分を抜き書きする。③行う児童の実態を考慮して、抜き書き分量は、こどもたちの音読の技量に照らして無理のないようにする。④遊びとしての楽しさを作るために「いじわるな」カードも作る。

『わたしのろばペンジャミン』ハンズ・リマー文レナート・オスベック写真松岡享子訳 福音館書店

『パンのかげらとちいさなあくま』再話 傑作集 1979 福音館書店

『クロードニアの秘密』E.L. カニクスバーグ 作 松永 ぶみ子 訳 岩波書店

『雪の森のリサベット』アストリッド・リンドグレン 作 イロン・ウィーランド 絵 石井 登志子 訳 徳間書店

『クロードニアの秘密』E.L. カニクスバーグ 作 松永 ぶみ子 訳 岩波書店

大人のための絵本サロンスペシャル in 勝沼を振り返る

10月13、14日の二日間、山梨県甲州市勝沼で「第3回 大人のための絵本スペシャル in 勝沼」が開かれました。以下の囲みはその呼びかけ案内(一部略)です。主催呼びかけ人のお一人である足立正治(大阪樟蔭女子大学非常勤講師)の許可を得て、足立氏のブログ「ことばと学びと学校図書館 etc. をめぐる足立正治の気まぐれなブログ」から抜粋引用をさせていただきます絵本サロンの様子をお伝えします。

「第3回 大人のための絵本サロン in 勝沼」 秋の勝沼でプレイフルな学びの場を一緒につくりませんか？
■日時 2013年10月13日(土) 14:00～10月14日(日) 15:00 ■場所 大善寺(通称ぶどう寺、山梨県甲州市勝沼町)、その他
青柳啓子さん(日本アニマシオン協会役員)による絵本サロン、参加者によるアニマシオン、意見交換、フットパス体験や縁側カフェでのアニマシオンなど盛りだくさんです。こうしたプログラムはもちろん、勝沼の自然や文化的風土とそこに参加されるみなさんが相互にかかわりあって生み出される場の全体をひとつのアートとして体験しようという試みです。

●秋晴れの日に

さわやかな秋晴れに恵まれた13日と14日に第3回大人のための絵本サロンスペシャルが開かれた。参加者は、勤務の関係で途中から合流された人も含めて18名。神戸、奈良、群馬、神奈川、地元の甲州市や甲府市、笛吹市から図書館や学校関係者、大学の教員など多彩な人たちが集まった。今回は日本在住13年、ドイツ人のイーバルト・ラルフさんが『モモ』を使った作戦をやってくださったこともあって、参加者のパリエーション、ロケーション、プログラムの充実度など、過去2回の絵本サロンスペシャルをしのぐものとなった。今回の案内文にこんなことを書いた。
…わたしたちの「大人のための絵本サロン」は「読書へのアニマシオン」の手法を用いて、本を介して出会い、語り合う、大人のためのプレイフルな学びの場をつくることを目指しています。今回は、勝沼の自然や文化的風土とそこに参加されるみなさんが相互にかかわりあって生み出される場の全体をひとつのアートとして楽しもうと思います。
この短いフレーズに込めた想いを具体的なかたちにするために、青柳啓子さんが詳細なスケジュールをつくってくださった。

大人のため絵本サロンスペシャル Vol.3 秋の勝沼編 日程表

1日目 10月13日(日)

- 12:55 塩山駅着(かいじ105号) 徒歩で甘草屋敷へ 屋敷内子ども図書館見学(パークライブリ開催中)
- 13:40 車で勝沼図書館へ
- 14:00 勝沼図書館見学
- 14:30 大善寺着(直接来ている参加者と合流) 参加者始めの会 大善寺見学等
- 15:30 絵本サロン スタート

～プログラム～

- 15:30-16:00 「ちいさなお」(細川 恵利)
- 16:00-16:45 「もりのなか」(青柳 啓子)
- 17:00-17:30 挿絵の作戦(細川)
- 17:30-18:30 詩の作戦(山本 敬子)
- <夕食>
- 19:30-20:00 「ペレのあたらしいふく」(細川)
- 20:00-21:00 一日目の振り返り アニマシオンについての話し合い等

2日目 10月14日(月)

- 7:30-8:30 朝食
- 9:30 チェックアウト 大善寺出発
- 9:50 勝沼ぶどう郷駅着 2日目の参加者と合流 フットパスへ
- 10:00-10:30 「モモ」をつかった作戦(イーバルト・ラルフ)
- 10:30-12:00 カフェ「やまいち」で昼食
- 12:00-13:30 参加者の交流(「質問絵本」を使って 青柳)
- 13:30-15:00 車で勝沼ぶどう郷駅へ
- 15:00 勝沼ぶどう郷駅よりかいじ116号へ乗車

甘草屋敷子ども図書館

JR中央線塩山駅を下車すると、すぐ目の前に旧高野家住宅がある。甲州に現存する代表的な民家で、江戸幕府の命を受け漢方薬の原料「甘草」を栽培したことから甘草屋敷と通称される。その母屋の裏にある文庫蔵を改装して現在は子ども図書館(甲州市立塩山図書館分館)として使われている。子ども図書館ではパークライブラリを実施中。敷地内の随所に番号がふられていて、同じ番号のふられた絵本セットをその場所で読んでみよう、というイベント。



勝沼図書館

ワイナリーやブドウ畑に囲まれた勝沼図書館は甲州市の中央館で、全国一のワイン関連資料のコレクションを誇るという。児童コーナーの資料も充実していて子どもたちが快適に利用できるように工夫を凝らしたつくりになっている。ここは、アニマシオンを通して本の世界を体験する、子どものためのカムカムクラブの拠点でもある。



大善寺

今回の絵本サロンのメイン会場となる柏尾山大善寺、通称ぶどう寺。養老2年(718年)行基が開いたと伝えられているが正確な創建年代は不明だという。13日は、宿坊に宿泊させていただき、広間を利用して、夕食とお茶の時間を挟んで延べ5時間以上にわたって絵本サロンを楽しんだ。

フットパスと縁側カフェ「やまいち」

翌14日。大日影トンネル遊歩道は、1999年に新トンネルの開通とともに廃線になったJR中央線の二つのトンネルのひとつで、2005年に旧勝沼町が無償で譲り受けてフットパスとして活用されている。トンネルを抜けた先にある深沢トンネルはトンネルワインカーヴ(ワイン貯蔵庫)として活用されている。わたしたちは、その内部の20mほどを見てもらった後、ぶどう農家の三枝喜久子さんのお宅を訪問。三宅さんは数年前から縁側カフェ「やまいち」として地元の産物を使った料理をふるまっておられる。

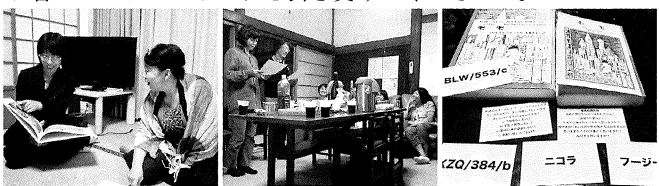
この旧家の仏間で『モモ』を使ったセッションを行った。

●絵本サロンについて

日常的に本を読む機会は多いほうだ。読んだ本について誰かと話し合ったり、一冊の本をじっくりと読むために読書会をすることも。だが、絵本や児童文学を手取ることは、めったにない。優れた絵本や児童文学が大人にとっても何か大切なものに気づかせてくれる働きがあることは知っていても、子どもも孫も成長して、日常的に子どもと接する機会がないと、わざわざ自分のために読もうとは思わない。おそらく、多くの大人にとって「絵本」は、非日常的なメディアだろう。
青柳啓子さんが「大人のための絵本サロン」をやっておられると知ったとき、心が動いた。学校や家庭ではなく、街のイタリア料理店で大人が絵本を読んで語り合うという！ 余暇を楽しむのにさえず暇を惜しまなくてはならないご時世に、なんとこの贅沢な時間の過ごし方だろう！ ぜひ参加してみたいと思ったが、絵本サロンが開かれる日に神戸から甲府まで足を運ぶ余裕はなかった。

アニマシオンの手法がもちいられていることが、一つの鍵に思った。「読書へのアニマシオン」は、子どもの自発的な読書を促すために開発された知的な遊びである。75の作戦が用意されていて、本を読み解くために必要な、さまざまな力が鍛えられるようになっていく。作戦は遊びのルールであり、いろんな作戦を重ねるうちに本を総合的に読み解く力が身につくようになっていく。まず、アニマドール(アニマドール)と呼ばれる人が、本を選び、どの作戦をどんな風に展開するかを考えて、「この本で遊びたい人、この指とまれ！」と呼びかける。アニマドール(アニマドール)は、ただ活動を「仕掛け」たり指示を出して「やらせる」だけではない。読み手の思考と想像力を活性化し、いわば触媒のような働きをする。そのため作品を丁寧に読み込み、周到に準備をしておくはならないが、同じ題材を同じ作戦でやっても、毎回、新たな気づきがあり、読みが深まるという。

定年退職後に時間的な余裕ができたので、青柳さんをお願いして絵本サロンのスペシャル版をやっていたことにした。その三回目当たる今回は、青柳さんだけでなく、何人かが入れ替わってアニマドールを引き受けてくださった。



●現代の虚無に立ち向かうファンタジーエン

アニマシオンの作戦を手順よく忠実にこなせば良いというわけではない。技術(テクニク)を超えた何かが必要だ。それが場所やスケジュール、参加者など、さまざまな要因の相乗効果によってもたらされるものであることは言うまでもない。とりわけ、そこに集う多様な参加者が、協力的(相互作用)な関係の中で、快感と学びに向かう意思と呼吸を共有することができればいい。それはアニマドール(アニマドール)の感受性とリーダーシップが求められるが、「先生」や「指導者」というより、ともに遊び、学び合う仲間といった存在であるほうが上手いくだろう。

今回はドイツ人のイーバルト・ラルフさんが参加してミハエル・エンゲの『モモ』と使った作戦をやってくださったことも大きな要因になっている。ラルフさんはドイツ語版と日本語版の2冊の『モモ』を用意しておられたが、どちらにも、たくさんの付箋がついていて、メモがびっしりと書き込まれていた。ラルフさんは、アニマシオンの作戦をもちいて、この作品を私たちの生きている現実世界と関連づけて読み解くメディア・リテラシーの実践とする可能性を探っておられるのだそう。

『もりのなか』のなぞ

『もりのなか』の作戦が終わった後、青柳さんから、ひとつの問いかけがあった。



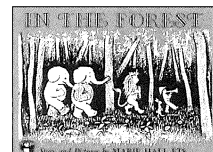
『もりのなか』
(世界傑作絵本シリーズ-アメリカの絵本)
マリー・ホール・エッツぶん・え
まさきりこ訳
福音館書店(1963)

この本の中ほどに、こんなページがある。見開きの左のページには、森の中の大きなテーブルを囲んで動物たちがおやつを楽しんでいる様子が描かれていて、「しばらくくと、だれかが ぴくにつくをした あとが ありました。そこで ほくたちは、ひとやすみして、ぴんつつやじゃむを たべました。また、そこにあった、あひすくりーむや おかしを たべました。」とある。



右側のページでは、動物たちが輪になって遊んでいる。「それから、「はんかちおとし」をひとまわりしました。」問題は、左側のページ。ピーナッツやジャムは、自分たち(二匹のくまさん)がもってきたもので、分け合って食べるのはいいとして、アイスクリームやお菓子は、先に来た人が「食べ残し」ていったものじゃないの？ という子どもがいるというのである。絵をよく見るとケーキはまるごと置いてあるし、そばには棒型のアイスクリーム製造器が描かれていて、「食べ残し」には見えない。それでも、だれかがピクニックをしたあとに「残していった」(と思われる)ものを食べるのは抵抗があるのではないかと。

この違和感について参加者で話し合った後、青柳さんは原著を紹介してくださった。なんと原文では、誰かのピクニックの後だなんて書かれていない。



『In The Forest』(Picture Puffins)
Marie Hall Ets
Penguin Books(2006)

[We came to a place made for picnics and games So we stopped and ate peanuts and jam- And some ice cream and cake that were there.]

最初の文の made for は「～のためにつくられている」「～にうってつけの」という意味で、「だれかがピクニックをした後」にあたる表現は見あたらない。ここでは、どうしてそこにアイスクリームとケーキがあったのか分からない。そこで、翻訳者は、誰か先客がいて、その人たちが置いていったと解釈するのが合理的だと考えたのだろうか？

だが、非合理的な世界で、さまざまな想像をめぐらすのもファンタジーの世界に遊ぶ楽しみではないか。ケーキやアイスクリームは、男の子のために、誰かが用意してくれていたと考えることもできる。森の精とか、神様とか、両親とか・・・誰かが男の子を祝福してくれている・・・と読むこともできる。

青柳さんは、松居直さんの『絵本編集者の眼-エッツ「もりのなか」を読む』(かわさき市民アカデミー講座ブックレット、2003.4)も調べてくださったが、このページに関しては「アイスクリームが融けてしまうのではないか」という疑問にたいして、アイスクリーム製造器が描かれていることを指摘しておられるだけで、この訳にいたった経緯については書かれていないという。

家に帰って調べてみると『もりのなか』の中国語訳が出ていることが分かった。



In the Forest (中国語)
Marie H. Ets
Er Shi Yi Shi Ji/Tsai Fong Books(2008)

我们来一片可以野餐和游戏的空地。(ぼくたちは野外で食事とゲームができるスペースにやってきました。)

大家停下来、吃起了花生、果酱-还有冰激凌和蛋糕(みんなはひと休みして、落花生とジャムを食べ始めました-アイスクリームとケーキもありました)

原文に即した訳で、「だれかがピクニックをした後」とはならない。本の帯には「日本絵本父松居直先生 最钟愛的经典之作」(日本絵本の父である松居直氏が最も愛する古典)と大書してあるが、松居さんはこの中国語版をご覧になったのだろうか？ 一般的に翻訳は原文を文字通りに訳せばいいというものではないし、そもそも訳者の解釈を抜きにした訳というものはありえない。しかも、『もりのなか』の対象年齢は「読んであげな2才から、自分で読むなら小学低学年から」となっていて、その年齢層の子どもたちが耳できいただけで具体的な場面をイメージしやすいように、ことばの選び方や並べ方を工夫しなくてはならない。問題の箇所が「ぼくたちは、…にやってきました」ではなく「しばらくくと、…が ありました」となっていたり、「ぴくにつくとげーむ」でなく「ぴくにつく」だけになっているのも、そういったことを考慮してのことだろう。いま考えると「けーき」は「おかし」に変えなくてもいいように思うが、この本が翻訳された1963年当時の子どもたちの感覚が反映されているのかもしれない。さらに、やっとな平仮名を認めるようになった子どもが読みやすいように、分かち書きにしてあることも大事だ。意味のかたまりを一目で読み取れるように、どこで区切り、一区切り長さやどれくらいにするか。このページでは一区切りが最大で8文字になっている。

こうしたことを考え合わせると、「しばらくくと、だれかが ぴくにつくをした あとが ありました」というのは、よく吟味された表現であることが分かる。これを凌ぐ代案を考えることは大きなチャレンジといっている。それでも、原文の表現から大きく外れないで、しかも子どもたちに「食べ残し」をイメージさせないために、どんな表現が可能かを話し合ってみる価値はあるだろう。

さて、こうして、われわれ大人が、この絵本に込められた原作者の意図を読み解き、翻訳の在り方を考え、より原文に近い適切な訳を考えることは別に、ぼくは個人的には、長く親しまれてきた日本語版の『もりのなか』は、そのままの形で受け継いでいってほしいと思う。そして、もしも子どもたちが「誰かが残していったものを食べるの？」という疑問をもったら、絵をよく見て、けっして「食べ残し」とは言えないことを確かめた上で、「じゃあ誰が用意してくれたのだろうか？」と問いかけて、いろんな可能性を考えてみてはどうだろうか？

そして、誰か先に来た人が後から来る人のために残しておいてくれたと想像したとしても、子どもたちは、他者からの無償の贈与(純粋贈与)という、常に見返りを求める現代の交換経済(等価交換)とは異なる価値に触れることによって、温かく祝福に満ちた幸せな感じを受けるにちがいない。

「読書へのアニメーション」 日本初紹介以来の 16年間を振り返る

黒木 秀子

皆さんの皆様に支えられて、読書へのアニメーションの紹介普及活動が続いています。感謝の気持ちを込めて、それから少し個人的なことも含めて、みなさまにご縁をいただくことになったアニメーションと、私自身との関わりについて、16年間を振り返ってみたい。

■出会い 1997年

モンセラット・サルトさんによる読書教育の方法「読書へのアニメーション」は、1997年4月の『読書で遊ぶ』(1997年4月)が大好きになる25のゲーム(モンセラット・サルト著、佐藤美智代・青柳啓子共訳、柏書房)の刊行をきっかけに初紹介されました。それから10年余が経ちました。私が昨日の出来事のように思い出すのは、その年の5月の連休明けの頃、私の通っているカトリック教会の個人用ポストに1通の手紙が入っていたことです。差出人は全く知らない人でした。当時、私は、カトリックのことも向け冊子にエッセイを連載していましたので、ごくたまに、読者の方から所属教会へにお手紙をいただくこともありました。

■スペイン・セミナー 2000年・2004年

国立教育研究所(当時)の有元秀文さんやスペイン語訳者宇野和美さんとも知り合い、だんだん私はアニメーションに夢中になって行きました。

■アニメーション勉強会 2001年

日本で、日本語の読み書きを学ぶ中にも、日本語の読み書きを学ぶ中にも、「読めるようになるための勉強会」と思っています。塚本美樹さんに勉強会会場として信濃町の真生会館を紹介いただき、2001年3月に第1回勉強会を開きました。この会を始めるにあたり、猪熊葉子先生からお励ましをいただいたことは忘れられません。

■紹介活動を始める 1998年

その後、教会の日曜学校で聖書を学ぶ際にアニメーションのやり方を取り入れてみたり、地域の「子ども図書室」などで子どもたちと遊んでみたりしました。

■NPO法人設立 2008年

月に一回集まるアニメーション勉強会を母体とし、前年1年間かけて準備を行って、2008年4月に特定非営利活動(NPO)法人日本アニメーション協会を設立しました。

■NPO法人設立 2008年

2004年12月には、第3回日本人向けセミナーがマドリッドで開かれました。このときのコーディネーターは私がさせていただきました。

■講師としての活動

前述したように、1998年に兄団の学習会へお邪魔したのを皮切りに、お声をかけていただければ、どこへでも喜んで、アニメーションの紹介に出かけて来ます。

見小百合さん飯塚康之さんを迎えて業務を開始しました。私たちのNPO法人は、正会員(年会費3,000円)による会員総会を最高決議機関として、通常時は役員(理事長・副理事長・理事・監事)が運営責任を負っています。正会員数は、設立以来毎年変動はありますが、最高年で210名、本年(2013年度)は会員数185名です。

■中小学校の読書教育の広がり

2000年一子とも読書年、国立国際子ども図書館のオープン、2002年国書院設置の法制化、朝の読書運動の浸透、保護者による読書講座や図書館整備ボランティアの一般化、2010年「国民読書年」など、ここ10年間で、子ども読書推進は大きく進んできました。

■NPO法人設立 2008年

2004年12月には、第3回日本人向けセミナーがマドリッドで開かれました。このときのコーディネーターは私がさせていただきました。

■講師としての活動

前述したように、1998年に兄団の学習会へお邪魔したのを皮切りに、お声をかけていただければ、どこへでも喜んで、アニメーションの紹介に出かけて来ます。

■仮の計算

もし、学校で継続的なアニメーションを行うとして、その読書材(複本セット)を購入するならば、という仮定の上での計算です。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

「本のコピーを配って読ませよう」ということでは、複本を揃えるのが困難だ、という指摘だとも思っています。そのNPO法人を作り、アニメーション用に厳選した図書の無料(ただし送料は借り方負担)貸出をしていただいているのが、「借り」というのも先生方にとってひと手間であることはよく分かります。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

「本のコピーを配って読ませよう」ということでは、複本を揃えるのが困難だ、という指摘だとも思っています。そのNPO法人を作り、アニメーション用に厳選した図書の無料(ただし送料は借り方負担)貸出をしていただいているのが、「借り」というのも先生方にとってひと手間であることはよく分かります。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

「本のコピーを配って読ませよう」ということでは、複本を揃えるのが困難だ、という指摘だとも思っています。そのNPO法人を作り、アニメーション用に厳選した図書の無料(ただし送料は借り方負担)貸出をしていただいているのが、「借り」というのも先生方にとってひと手間であることはよく分かります。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

「本のコピーを配って読ませよう」ということでは、複本を揃えるのが困難だ、という指摘だとも思っています。そのNPO法人を作り、アニメーション用に厳選した図書の無料(ただし送料は借り方負担)貸出をしていただいているのが、「借り」というのも先生方にとってひと手間であることはよく分かります。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

■アニメーションへの批判もありました

アニメーションの紹介普及活動は、決して順風満帆に進んできたわけではなく、洗礼を受けたのは今から25年前のことでした。

